

日本体験学習研究会 第15回全国大会のご案内

大会スローガン決定！！

温故知新

—参加者が主体となる学びを探ろう！—

気づけば今年ももう7月、時が過ぎるのは早いですね。今年も日本体験学習研究会全国大会の第1号通信（発表募集のご案内）を皆様にお届けします。メールアドレスをご登録いただいている皆様に5月中旬にメール通信をお送りし、今年の大会の運営委員になってくださるよう、お願いをしました。その呼びかけに応じてください、今回の大会の運営委員として手を挙げてくださった方は、事務局を含めて総勢16名（うち南山大学の教員が7名）でした。そして、6月11日（火）に第1回運営委員会を開催し、日本体験学習研究会第15回全国大会に向けてスタートを切りました。

第1回運営委員会では今年の大会のスローガンについて話し合われました。いろいろな案が出ましたが、私たち運営委員が決定したスローガンは「温故知新—参加者が主体となる学びを探ろう！—」です。このスローガンに込めた思いは、体験学習の原点に戻って再確認できるような大会になるといいなあ、体験学習で大切にされている参加者中心の学びについて探ることができるとともに、大会の参加者の皆さんが主体的に選び、関わり、学ぶ場になるといいなあ、というものです。

昨年の大会では、従来のレポート・セッションを「参加型レポート・セッション」とし、参加者全員が一堂に会してセッションを行いました。今年は、大会スローガンの具現化の1つとして、発表者がその形式を自由に選択できる「オープン・セッション」を実施します。従来から実施している「エクササイズ・セッション」も実施します。多くの発表申し込みをお待ちしています。セッションの形態、発表申し込みの方法や締め切りは、この第1号通信でご確認ください。

12月7日（土）と8日（日）の両日、南山大学にぜひお越しください。参加者が主体となる体験学習についてともに学ぶことができることを楽しみにしています。

2013年7月2日

大会事務局長 中村 和彦

日本体験学習研究会 第15回全国大会 実施要領

この第1号通信では、日本体験学習研究会全国大会の概略をお知らせすると同時に、【体験学習】の実践と研究の報告・発表の募集をいたします。本大会は、体験学習に関心をおもちの方でしたらどなたでも、報告・発表および参加をしていただけます。

1. 日 時 2013年12月7日（土）・8日（日）
2. 会 場 南山大学D棟 名古屋市昭和区山里町18番地
3. 参加費 両日参加：4,000円、一日のみ参加：3,000円
 【学部生割引】両日参加：2,000円、一日のみ参加：1,500円

4. 発表・報告の形式

発表・報告の形式は、「エクササイズ・セッション」、「オープン・セッション」の2種類となります。これらは、体験学習の実践と研究の発表・報告の場であるとともに、フィードバックやディスカッションを通じて、発表者と参加者がともに学びを深める場でもあります。

〈エクササイズ・セッション〉 実習実施を伴った報告・発表 【3時間】

体験学習のオリジナルな実習やプログラムをわかりやすく紹介していただくために、実際に実習を実施していただきます。その後にフィードバックタイムが設けられます。1セッションは、3時間（ふりかえりを含む実習の実施120分以内・フィードバックタイム60分以上を厳守）とします。

セッション会場には座長をおき、フィードバックタイムがより深まるよう工夫していきます。発表者の方には、3時間の中に必ずフィードバックとディスカッションの時間を十分確保していただきますよう、お願い申し上げます。

〈オープン・セッション〉 実践報告・ラウンドテーブル・自主企画など 【1時間】

セッションへの申込者が1時間の枠を自由に設定して実施するセッションです。従来のレポート・セッションのような実践報告をご希望の方は、このオープン・セッションにお申込みください（発表時間と討論時間の配分は発表者にお任せします）。

その他、あるテーマのもとでのラウンドテーブルを行いたい、体験学習に関するミニレクチャーをしたい、開発中の実習についてアドバイスを受けたいのでミニ実習を実施したい、など、形式や内容を申込者が選ぶことができます。ユニークな企画のお申し込みをお待ちしています。

なお、セッションは、広いスペースを使い、複数の企画を同時並行で実施する可能性もあることをお含みおきください。

発表・報告申込み〆切:2013年8月26日(月)<必着>

※全てのセッションは、相互学習を目的とした発表の場です。宣伝や教材等の販売を目的とした発表であることが明らかになった場合は、その時点で発表中止とさせていただきます。販売等が目的となる場合は、展示・協賛として、運営委員会事務局までお問い合わせください。

5. 発表・報告希望者へのご案内

(1) お申し込みについて

発表・報告をご希望の方は、日体研通信の添付ファイルまたは日本体験学習研究会の Web にリンクしてある「申込みフォーム」(下記 URL) をダウンロードして、それに必要事項を記入の上、大会事務局宛てに E メールまたは、郵送・F a x にてご送付ください。

なお、参加のみ希望される方は、事前にお申し込みいただく必要はありません。

発表・報告の申込〆切:2013 年 8 月 26 日(月)<必着>

(2) 報告要旨の提出

ご希望の発表形式ごとに、下記の項目にしたがった要旨をご提出ください。

○エクササイズ・セッションでの発表を希望される方 (A 4・2 枚)

【報告要旨内容】

- (1) タイトル
- (2) 発表者 (ふりがなも付与する)
- (3) 発表者の所属
- (4) キーワード
- (5) 報告の要旨 (目的、プログラムの流れなど、できる限り具体的に記述)
- (6) ファシリテーターの動きや学習者への関わり方の留意点
- (7) 予想される参加者の気づき・学び・反応
- (8) 参加者に期待するフィードバックのポイント

○オープン・セッションでの発表・企画を希望される方 (A 4・1 枚)

【報告要旨内容】

- (1) タイトル
- (2) 発表者 (ふりがなも付与する)
- (3) 発表者の所属
- (4) キーワード
- (5) 企画や報告の形式 (実践報告/ラウンドテーブル/ミニレクチャー、など)
- (6) 企画や報告の要旨 (目的・形式・概要など、できる限り具体的に記述)
- (7) 参加者に期待すること

なお、報告要旨は、体験学習のプログラムやその様子、報告内容が明確にわかるように、できる限り詳細な記述をお願いいたします。発表申し込み後に事務局からお送りするフォーマットに従い、報告要旨を作成してください。

【提出方法】 上記の内容について、事務局から送られたフォーマットに入力したうえで、そのファイルを添付して E メールで事務局宛にお送りください。

報告要旨原稿〆切:2013 年 9 月 10 日(火)<必着>

(3) 発表用資料の準備について

会場で当日配付される資料は、発表者ご自身で 50 部程度ご準備ください。

必要部数は、会場や参加者によって異なりますが、50 部を超える場合もあります。発表会場で配布しきれなかった資料は、展示コーナーを設け、随時関心のある方に持ち帰っていただく予定です。

なお、配布資料の印刷・増刷は、大会事務局ではお断りさせていただいています（当日印刷をされる方は、各自、大学内の有料コピー機をご利用いただきますようお願いいたします）。

○発表・報告申し込み〆切日 :2013 年 8 月 26 日(月)<必着>

○報告要旨原稿〆切日 :2013 年 9 月 10 日(火)<必着>

※〆切厳守をお願いいたします。

※発表者による発表日（曜日）の指定はお断りしております。

*発表・報告を希望される方には、その申し込みが確認でき次第、事務局より改めてご連絡申し上げます、詳細についてお知らせいたします。

*皆様から提供いただいた個人情報、本研究会に関するお知らせ以外の目的には使用いたしません。

このご案内は、過去の日本体験学習研究会にご参加いただいた方、あるいは本研究会の案内に対して【体験学習】に関心をもっているとご返信をいただいた方の名簿をもとにお送りしています。皆様方のお近くに【体験学習】に関心をおもちの方がいらっしゃいましたら、この第1号通信をどうぞ転送してください。また、連絡先(お名前、E メールアドレス)を事務局にお知らせいただければ、本研究会の案内を今後 E メールでお送りします。

本研究会の案内や通信はEメールに切り替えたいと考えております。Eメールでの通信をご希望される方はその旨を下記メールアドレスまでご連絡ください。

温故知新

—参加者が主体となる学びを探ろう—

多くの方のご参加を、運営委員一同、心よりお待ちしております！

2013 年 6 月 28 日

大会運営責任者 津村 俊充

大会事務局長 中村 和彦

日本体験学習研究会 事務局

南山大学 人文学部心理人間学科 中村研究室 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地
tel:052-832-3111(代表)・内線 3959(中村研究室) fax:052-832-3217
Eメール:nittaiken-jimu@nanzan-u.ac.jp URL:http://www.nanzan-u.ac.jp/~tsumura/nittaiken/